

令和3年度 御前崎市立浜岡東小学校グランドデザイン

国・県・市の方針

- 国 「確かな学力の育成」を目指す。
 - ・何を知っているか、何が出来るか(個別の知識・技能)
 - ・知っていること、できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)
 - ・どのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力・人間性等)
- 静岡県 教育振興基本計画
 - 「有徳の人」の育成
 - ・個人として自立し、人との関わりを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画する。
 - ・特色ある教育活動を展開する中で、「生きる力」を育む教育の実践に努める。
- 御前崎市基本目標「郷土を愛し、未来を創る人づくり」
 - ・スクラムスクールプランで、社会全体で協働して人づくりを進める。
 - ・生涯にわたって学び続け、互いに高め合うことのできる人づくりを進める。

- 学校経営の重点
- 1 人権意識を高め、安心・安全な学校づくりの推進
 - 2 児童の自治的活動を支援し、主体性を育む教育活動の推進
 - 3 「主体的な学びをする児童」を育てる授業改善
 - 4 保護者、地域と連携した地域に開かれた教育課程の推進
 - 5 計画的・効率的な予算編成と早めの執行、適正な会計処理

御前崎市の未来

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」

- ・高い志や夢を持って生きる子
- ・学び続ける子
- ・他者と豊かにかかわる子
- ・社会とかがわっていく子



認め合い：ひがし宝カード・ひがし宝シールの活用

「勇気づけのボイスシャワー」「温かい聴き方の指導」「子ども主体の活動を設定」「地域も自己肯定感向上作戦」

<到達目標> 信頼できる先生がいる：90% 勉強がわかる：90% 学校が楽しい：95%

PDCA

【児童の実態】

- ◎素直、真面目であり、決められたことに向けて頑張ることができる。
- ◎他の子と温かい関わりができる。
- ◎授業での反応、つぶやきが良い。
- ◎エネルギーで、主体的、問題解決的な授業や活動を望んでいる。
- ・個人でも力を発揮できる自信をもたせたい。
- ・ハングリー精神や応用したい気持ちを育て、意識や意欲を高めたい。
- ・周りの雰囲気になじめない判断力をつけたい。

☆つけたい力
「人を大切にして行動する力」
「自分の言葉で伝え合う力」
☆大切な約束
「私も友達も一人の大切な人間である」

	PDCA		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			なかま		チャレンジ			高め合い			成長			
校内研修		深まりのある学び(算数)	ICT研修	提案授業	資質能力の明確化・学習問題づくり・意図的な対話						まとめ			
		授業の土台づくり	人間関係づくり		学級経営	夏季研修	特別支援	授業研究		授業研究		教育課程編成		
学びづくり		学習集団づくり	めざす授業像・学びのめあてを決める		学びのめあてにチャレンジ			学びのめあてのレベルアップ			学びのめあてのさらなるレベルアップ			
			温かい聴き方 ※ハンドサインの活用		つなげる聴き方 ※はまりゅうチャレンジタイム			伝わる話し方			伝え合い			
学びづくり		学習習慣づくり	学習ルール・マナー ①指名されたら「はい」の返事		②次の授業の準備をしてから休み時間			③チャイムであいさつ			①②③の確認			
			家庭学習 仕方を覚える		目標を設定しチャレンジする			自分に必要な内容を考えて取り組む			自分や友達の頑張り・成長を認め合う			
行事		集団づくり・自治	一迎会	運動会	マリン教室					修学旅行	自然教室			六送会
心づくり	自主的 主体的 活動	低学年	当番活動について知ろう		気づいたことを伝えよう			学級をよりよくするために伝え合おう			※左記の流れを学期ごと行う			
		中学年	会社活動について知ろう		学級を楽しくする方法を伝えよう			学級・学年をよりよくする方法を伝え合おう						
		高学年	前期委員会の仕事を知ろう		思いや考えを伝え合い、形にしよう			後期委員会の仕事を知ろう			思いや考えを伝え合い、形にしよう			
		もくもく掃除	もくもく掃除を知ろう		どの場所でも当たり前前に掃除しよう						気持ちをこめて掃除しよう			
	あいさつ	自分も相手もうれしくなるあいさつ(伝わるような声で・明るく元気な声で・相手を見て・気持ちをこめて)												
	東っ子の約束	学校生活の基本を身に付ける		ルールやマナーを守って 気持ちよく生活しよう						次年度につながる生活をしよう				



令和3年度学校教育目標

伝え合い 心ゆたかな たくましい子

【共有する価値ある姿】

- ・自分のよさ、頑張りや苦手を受け入れ、ありのままの自分を認め、次へつなげる。
- ・友達のよさ、頑張りや苦手を認め、評価できる。よくない表れも注意できる。
- ・友達の考えと自分の考えを比べて違いを認め、よいと思ったことは受け入れたり自分の考えを取り入れたりする。
- ・相手に共感する気持ちをもって、反対意見であっても相手の意見や考えを受け止め、言われた相手のことを思いやる言い方で支え合う。相手のことを大切にし、受容する心をもつ。
- ・間違っていたとしても、その考えを追求し合ったり、その子なりの成長を互いに褒め合ったりする。

